

やってみよう！ #SDGs 自由研究



プログラム

プラスチック・スマート

プラスチックごみ問題を、どれくらい知っていますか？プラスチックごみがどこからどのようにして環境問題が起きているか聞いたことはありますか？30年後には海は魚よりもごみが多くなるといわれています。そうすると海に魚の住む場所がなくなり、魚はいなくなってしまう。プラスチックごみ問題は人間だけの問題ではありません。プラスチックごみや製品の使用を少なくして環境問題に取り組みましょう！

つながるSDGs



じゅんぴ ぶつ 準備物

チェックシート、色ペン（色えんぴつ）

とりく かた 取組み方



★家の中にある『プラマーク(プラスチック製容器包装識別表示マーク)』を探してみましょう。



★プラスチックごみや製品を一つ捨てるごとに『チェックシート』に記録していきましょう。一週間の期間でどれくらいのごみが出ているか調べてみましょう。チャレンジ前とチャレンジ後で半分以下にできた人は、どこまで減らせるか挑戦してみましょう。

★プラスチックごみ分別を調べてみましょう。



チェックシート

プラスチックごみ（^{おお}大きくても^{ちい}小さくても1つ）を捨てる^すときに

P（プラスチック）^{いろ}マークに色をつけましょう！



P P P P P P P P P P

かい
10回

P P P P P P P P P P

かい
20回

P P P P P P P P P P

かい
30回

P P P P P P P P P P

かい
40回

P P P P P P P P P P

かい
50回

P P P P P P P P P P

かい
60回

P P P P P P P P P P

かい
70回

P P P P P P P P P P

かい
80回

P P P P P P P P P P

かい
90回

P P P P P P P P P P

かい
100回

ちい ふくろ かい す いろ
※小さな袋を1回で2つ捨てる^すときは、2つ色をつけ^{いろ}ましょう。

プラスチックについて考えてみましょう。

ファミリーパックお菓子の個包装（小さな袋）も1つです。毎日の生活の中に、たくさんのプラスチックがあることに気がつきましたか？

大切な地球を守るため、そして未来に向けて「わたし」が動かなければなりません。仲間と協力すれば大きな力になります。一緒に未来を守りましょう！

『マイクロプラスチック』ってきいたことがありますか？

本やインターネットを使って調べてみましょう。

※インターネットを使う時は、おうちの人と一緒に、家で決めているルールを守ってくださいね。

◆『プラスチック』と『マイクロプラスチック』の違いを調べてみましょう。

◆大きさはどれぐらいか調べてみましょう。

人間の体内に入ってしまった。どうして入ってしまったのでしょうか？

プラスチック製品が自然環境にさらされ、劣化し小さな破片となったものを『マイクロプラスチック』といいます。

プラスチックは分解されないため、小さく目に見えないほどのサイズになっても半永久的に海を漂い続けます。海洋生物たちはマイクロプラスチックをエサと間違えて食べてしまうこともあります。例えば、マイクロプラスチックをエサと間違えて食べてしまった魚を私たちが食べているとすると…体内にマイクロプラスチックが入っていることになりますよね。プラスチックは分解されないで、ずっと体内に残ることになります。今からできることを一緒に考えていきましょう。

『スマートでんきコラム<エネルギーと環境問題>より』

わたしにできる『4R』！

- ① 『Refuse』 **リフューズ** (断る／拒否する)
ごみになりそうな物は買わない、使わない。
- ② 『Reduce』 **リデュース** (削減する)
使い捨ての物は避けて、長く使える製品を選ぶ。
- ③ 『Reuse』 **リユース** (再使用する)
一度使い終わったものでも、使える限り長く使う。
- ④ 『Recycle』 **リサイクル** (再生利用)
環境マークを知り再び原料として新しい製品になるよう分別リサイクルする。

わたしができることを書いてみましょう！

マイバックやマイボトルなど、出かけるときは、
家から持っていくことを心掛けましょう！

